


野田由佳里（社会福祉学博士）

聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授 兼 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校校長として介護福祉士養成教育に携わる。介護福祉士養成施設協会理事（2019年度から現在に至る）介護現場の実務経験15年、介護福祉教育19年（2005年～現在に至る）介護福祉論・高齢者福祉論・介護過程等を担当。現在の研究キーワードは、外国人介護労働者と認定介護福祉士。研究テーマは、介護職の継続就労、有能感や所属意識をもたらす意識変容。著書は、事例から考える「情報の見立て方」（2023）など。



令和5年度全国教職員研修会

# 介護福祉士養成校教員として それぞれの場所でなすべきこと



学校法人 聖隷学園 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部  
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 校長



野田由佳里





＊ ＊ お伝えしたいこと ＊ ＊

＊ 教育理念の明確化

＊ 資格取得ルートへの差別化

＊ 養成校教育の価値の再確認



# 学生募集に効果的なPPT（数字）

## Care Worker

### 数字でわかる専門学校の良いさ

- 開校 **8** 年目  
(大学での介護福祉教育 **22** 年)

- 国家試験合格率  
**100%**  
(外国人留学生も含む)

- 卒業生 **126** 名  
(前進の専門卒業生約1000名)  
(大学の介護卒業生約350名)

- 就職、進学率  
**100%**  
(希望の進路がある)



Seirei Christopher Univ. College

# 学生募集に効果的なPPT（英語）

単純に考えると日常の行動は3つに分類

ここを広くするため  
に養成校で学ぶ



# 介護福祉士養成校が 陥りやすい負の連鎖

教職員を育てる時間がない

できる教職員→多忙・激務化

できない教職員→モチベーション喪失

教職員が辞めていく

自分が業務をやるしかない

教職員を育てる時間がない

一部教職員の疲弊、養成教育内容の質低下

現状①

教員



# 「ピープル軸」から考える 職場の人とのかかわりは十分か

業務を続けるなかで、

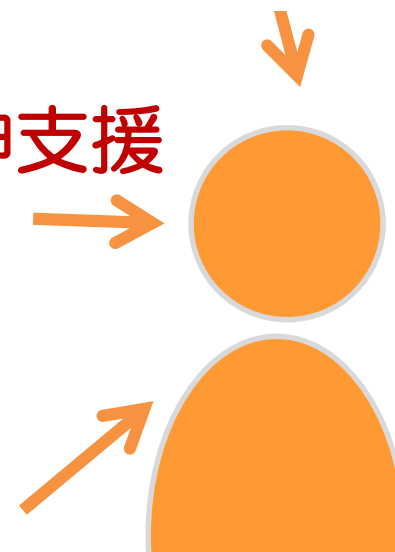
「人と人とのかかわりの量」  
が豊富で

「人間関係の質」がよいほど、  
さまざまな気づきを得て  
成長するきっかけを得る。

業務支援

精神支援

内省支援



参考：中原 淳（2023.7）おはよう21

学生の様子

**実学主義**の申し子というイメージ

「資格は取りたい！」

「社会に役立つ仕事をしたい！」

**資格取得**で何を大切にするのか

**結果重視**

楽に合格  
上級資格  
簡単な方法

**プロセス重視**

取得目的  
取り組み・学び  
**変容**👉発展・貢献

現状②

学生





# 学生の様子

成長（変容）を証明する手立てはない

☞ 自ら沢山のことを経験し、

気づきを得ながら、

継続的に成長（変容）をする

☞ **真正な学習**

暗記ではなく、誰にも真似できないもの。

コツコツ、スキルアップをする姿勢



An illustration of an iceberg floating in the ocean. The tip of the iceberg is above the water surface, while the much larger, jagged base is submerged below. The background is a light blue sky with white clouds. The water is a darker blue. The iceberg is white and blue. There are several faint, repeating logos of 'CHRISTOPHER UNIVERSITY' and 'SERIALS' scattered across the background.

**知識・技術（技能）**

**思考力・判断力  
表現力 等**

**水面下部分が育つことを重視**

**学びに向かう力  
人間性 等**



**知識・技術（技能）**

**思考力・判断力  
表現力 等**

## **養成校教育の意義**

**学びに向かう力  
人間性 等**

**外発的：負けず嫌い**

**内発的：楽しむ時間**



- 介護現場は無資格でも就労できる

- ☞ 養成校で学ぶことの意義

  - 実習体験

  - 利用者との出会い（対人援助職の根幹）

  - 感謝する気持ち 支えられる経験

    - ☞ 支える経験に転換

  - 実習報告会

  - 成果の報告

  - （省察・追体験・仲間の成長を共有・）

  - 帰属意識

それぞれのカラーや、アドバンテージを出せるか？  
そしてその伝え方は適切か？

・介護福祉士は高校でも・専門学校でも・大学でも  
受験資格を得ることができる

☞ 養成校で学ぶことの意義

☞ 自分の性格や高校生活から、どこで学びたいか

受験生の面接から

「自分は集中して一つのことをやりたいと思っています。専門学校では自分が自分らしく、他の人に紛れず、自分らしい空間の中でしっかり学べる点が良いと思い、志望しました。」

専門学校（短大、二年課程）は、専心できる  
場所だと受験生に教えられた経験



# 介護職のキャリアアップの例

入職する

ユニットリーダーやフロアリーダーになる

介護主任や介護統括になる

キュリアラダーや職員等級などが上位に進む

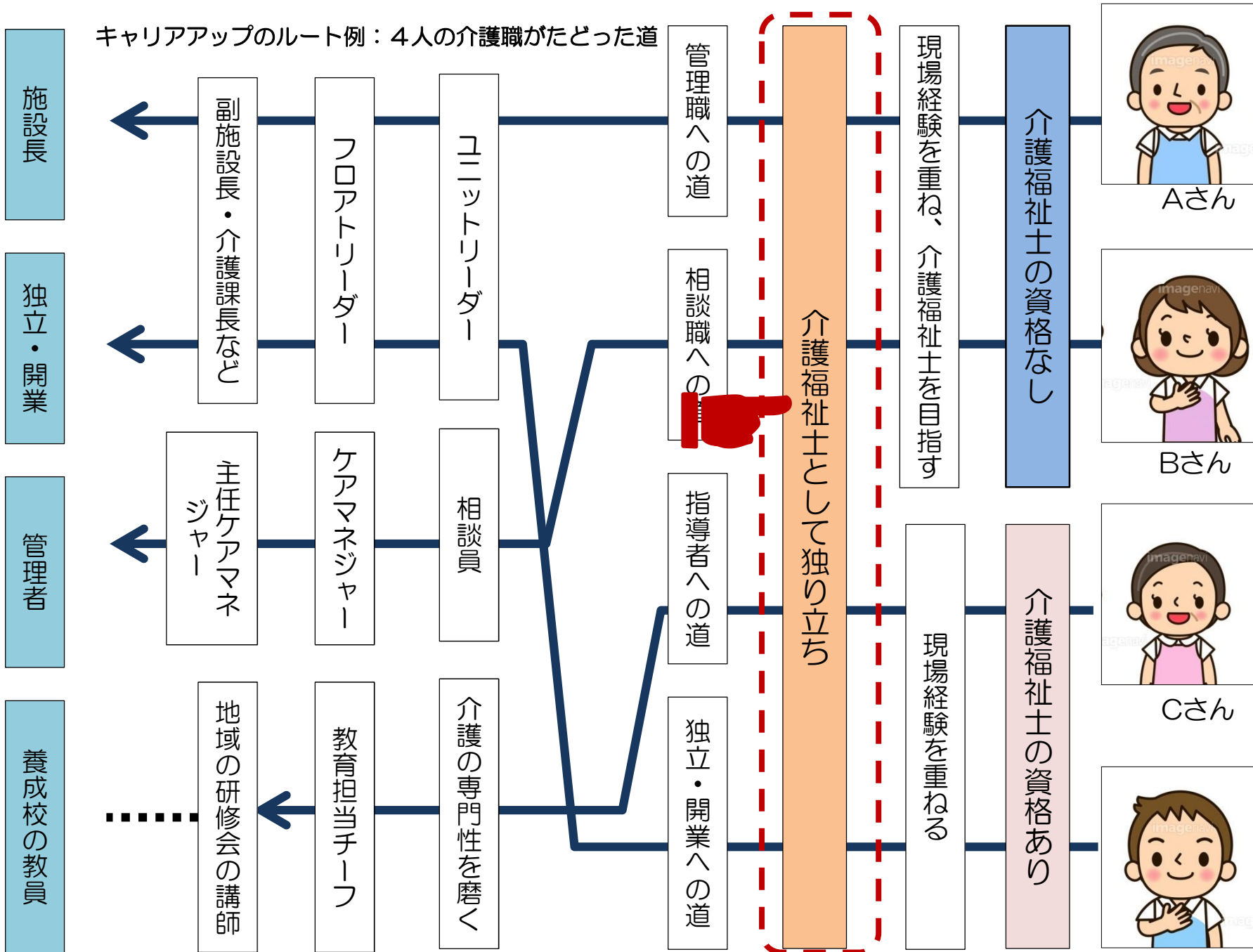
施設長や管理者になる

他の施設・  
事業所へ転職する

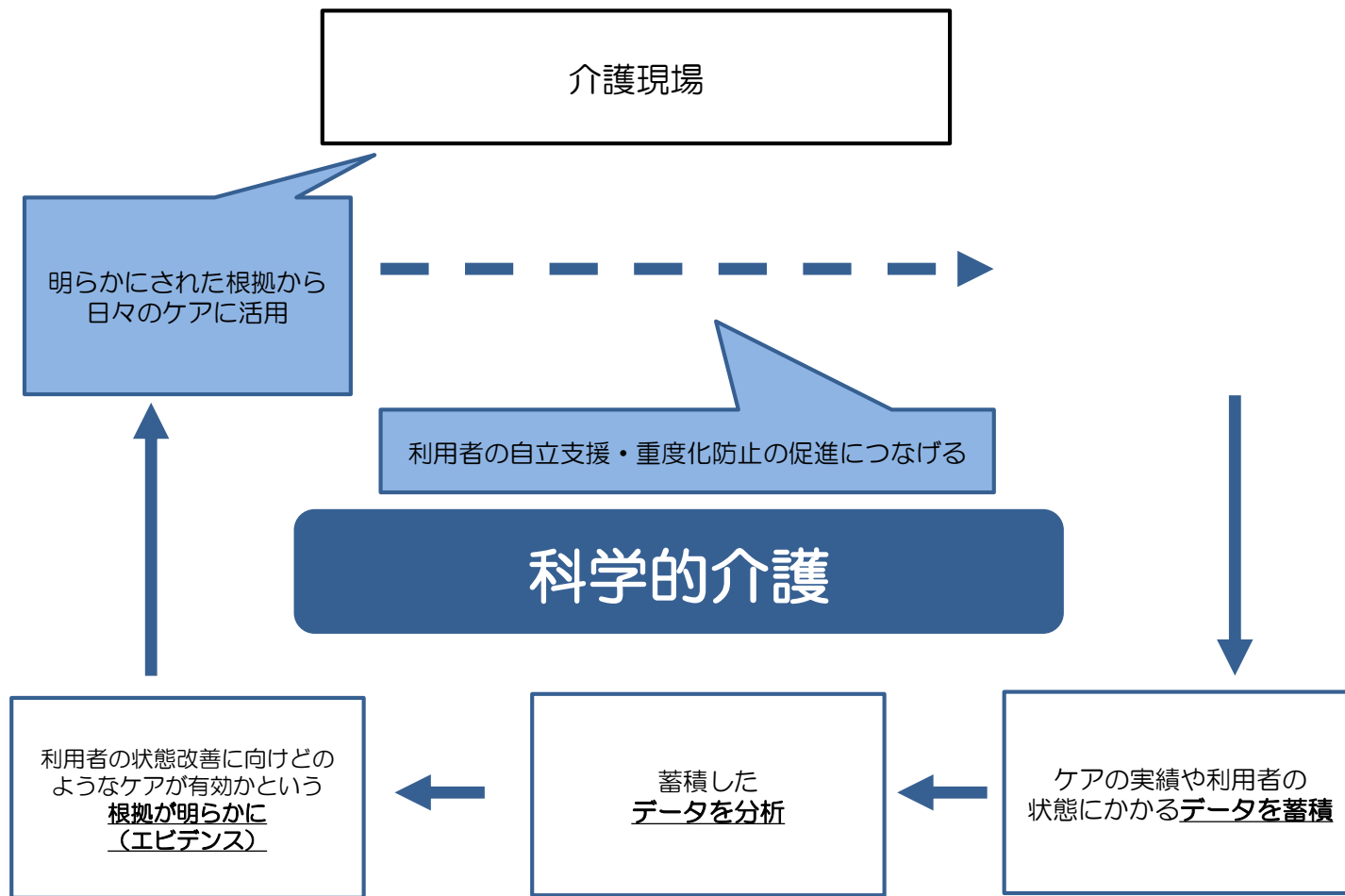
独立・開業する

介護教員などに転職する

キャリアアップのルート例：4人の介護職がたどった道



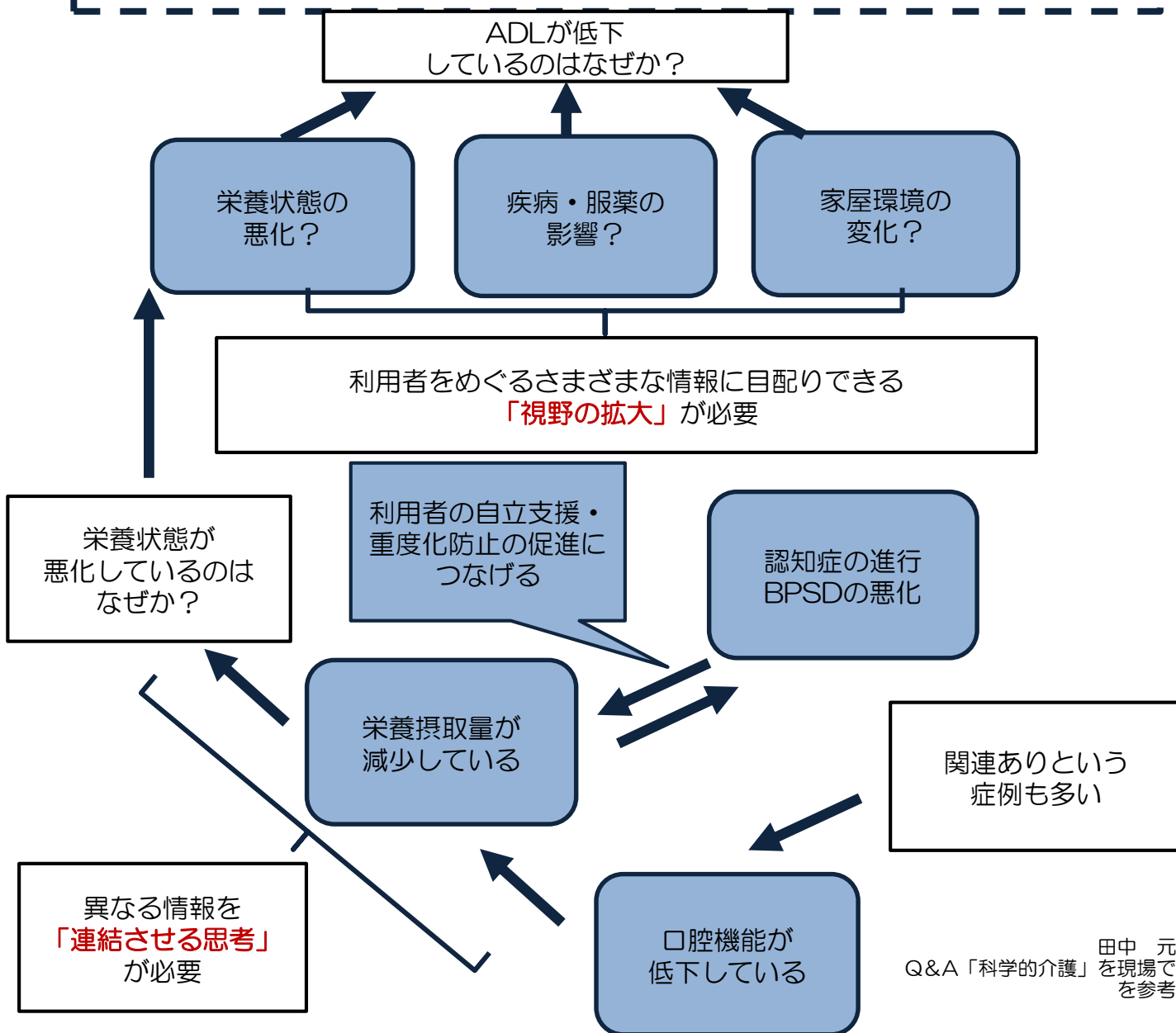
# 「科学的介護」に向けたしくみとは？



田中 元著 (2021)  
Q&A「科学的介護」を現場で実現する方法  
を参考に筆者が作成



# 情報を読み解くための 「視野の拡大」と「連結させる力」



# 私達が目指すゴールは何か？



# 私達が目指すゴールは何か？



### 【快適空間】

- 業務中：ストレスを感じない状態
- やり慣れた業務、いつものルーチンワークなどは、未知のチャレンジの必要がなく、
- 「どんな結果になるのかわからない」というストレスを感じることがない。

### 【混乱空間】

- 業務中：強い不安やストレスを感じる状態
- 今までに経験したことのない業務やその職員の能力よりもはるかに上をいっている業務を任せただけの場合には、この状態に陥り、パニックを起こす職員も出る

### 【挑戦空間】 快適空間と混乱空間の間に位置する

- 業務中：適度にチャレンジや背伸びをしている状態
- 「ストレッチゾーン」とも呼ばれ、できるかどうか多少の不安はあるものの、成長している実感を抱きながら「ストレッチ経験」をすることができる

経験に必要な「ストレッチ経験」

能力を高めるのに  
必要なのは  
ストレッチ経験  
(背伸び経験)

現在の能力で  
できる業務

背伸びしてできる業務



# 養成課程ごとに取り組む課題

福祉科（高校）  
三年課程

区別or差別化：他課程  
区別or差別化：他養成校  
特徴・独自性・将来性



二年課程



四年課程

提案

②

# 養成校が地域とタッグを組んで取り組む課題

## 外国人の 受け入れ環境整備

### 養成校

- 学習支援（精神的な安定・学習習慣・国試対策）
- 日々の声かけ・モチベーションの維持
- 勉強に集中できる環境整備（授業・図書館）
- 生活支援（病院・住宅・金融機関 等）

### 地域の法人・ 施設

- 奨学金
- アルバイトできる環境整備
- 就職支援（インターンシップ）
- 生活支援（在留資格の変更、引っ越し等）



# ☀️天気予報から考える☘️

高気圧	前線近づく	低気圧通過
晴れ ☀️	曇り ☘️	雨 ☂️
傘不要	傘不要	傘必要

過去

現在

未来

まとめ





有効求人倍率	慢性的な人材不足 人材不足は喫緊の課題	エッセンシャル ワーカーとして 社会的評価の向上 日本式介護の 技能移転

介護  
業界

介護協  
・  
養成校

個人  
教員組織

過去

現在

未来

